



カトリック六甲教会 教会報

2017

2

No.542



2月5日 日本二十六聖人殉教者の祝日

宣教部 飯塚

「十字架に付けられたパウロ三木の説教」

ここにおいでになる全ての人々よ、私の言うことをお聴き下さい。私はルソンの者ではなく、れっきとして日本人であってイエズス会のイルマンである。私は何の罪も犯さなかったが、ただ我が主イエス・キリストの教えを説いたから殺されるのである。私はこれだけの理由で死ぬことをこよなく喜び、これは神が私に授け給うた大いなる御恵だと感謝します。今、この時を前にして貴方達を欺こうとは思わないので、人間の救いのためにキリシタンの道以外に他はないと断言し、説明する。あなたたちの迷いを私はさましたいのです。どうぞ信じてください。人の救いの道は、キリシタンの教えが敵及び自分に害を加えた人々を赦すように教えている故、私は国王(秀吉)とこの私の死刑に拘わった全ての人々を赦す。王に対して憎しみはなく、むしろ彼と全ての日本人がキリスト信者になることを切望する。

(ルイス・フロイス「殉教記録」より)

2月7日、殉教者としてユスト高山右近の列福式が大阪で行われます。右近は1615年2月3日マニラでなくなりましたが、その約20年前1597年2月5日に長崎で、日本最初の殉教がありました。それから420年になります。今年は日曜のためお祝い日になっていませんが、ローマ教会の定めでは「聖パウロ三木と同志殉教者」の祝日と呼ばれています。

京都と大坂で捕えられたフランシスコ会の宣教師六名(スペイン人四名、ポルトガル人一名、メキシコ人一名)日本人イエズス会士三名(殉教直前に入会の二名を含む)と信徒十五名(内三名は子ども)計二十四人が、一条の辻で左耳を削がれ、京や伏見・大坂・堺を見せしめとして引き回されました。その後、長崎への道を約一ヶ月かけて歩かされたのでした(1月10日に御影・岩屋を通過)。途中、受刑者の世話をするためについできた二名が列に加わり、長崎の西坂の丘で殉教したのは二十六人となりました。年齢は十二才のルドビコ茨木から六十四才のディエゴ喜斎までで、ペトロ・バプチスタ(イエスに倣い釘付けを願った)など三人のバテレン(司祭)、フィリポ・デ・ヘススなどイルマン(修道士)のほか行商や大工、医者、料理人など様々な仕事をしている男性でした。子どもの時からの信者やつい数ヶ月前の受洗者までいました。

「神よ、あなたに命をささげます」「イエス マリア」と叫んで息絶える者、上のよう説教を最後まで続ける者・・・ 二十六本の十字架上の殉教者たちに四千人の群衆が集まり見つめる中、「すべての民よ、主をほめたたえよ」と殉教者の歌う讃歌の声を人々は聞きました。その歌声は眼下の街へ、港へ、海を越え、大陸を渡り国々へ広がっていきました。日本国内では秀吉の意図に反して長崎を中心に信者の数はますます増えていったのでした。



ナルドの花たより

神が私たちになさった不思議なわざをともに告げ知らせる時、愛の一致は実現します。
(2017/1/22)

私たちはキリスト教の一致を願い求めます。キリストを願い求めているからです。一致のうちに生きたいと願っています。キリストに従い、その愛のうちに生きたいのです。
(2017/1/19)

紛争から逃れなければならない、中でも一人で逃げざるを得ない子どもたちは最も無防備です。彼らのために祈り、手を差し伸べましょう。
(2017/1/13)

あらゆる人はいつくしみの文化のために貢献できます。そこでは誰一人、他人を無関心の目で見ないのです。
(2017/1/11)

この1年、真の平和を築くために共に働く機会が、私たちの国々で、また諸民族の中で増えていくよう期待しています。
(2017/1/10)

洗礼によって始まる信仰と愛の道においてイエスに従えるよう、おとめマリアの助けを願い求めましょう。
(2017/1/8)

占星術の学者たちのように、私たちのうちにお生まれになったまだ見ぬ神を見出す道を、どうか私たちも注意深く、疲れを知らず、勇気をもって歩めますように。
(2017/1/7)

新年の初めにあたり、全ての民族と国家のための平和を心から乞い願います。
(2017/1/2)

世界中で平和といつくしみが育つよう、新たな1年を神の母聖マリアにゆだねましょう。
(2017/1/1)

カトリック中央協議会HP 教皇フランシスコのツイート (邦訳) より

ユスト高山右近列福式

2017年2月7日大阪城ホールで開催されるユスト高山右近の列福式ミサの模様をインターネットで生中継します。視聴は無料。手続きなども不要です。また列福式のミサの模様は、式後もいつでも視聴できます。

放送日時： 2017年2月7日(火) 11:00~15:00 (式典は正午開始)

アクセス方法： 以下のYouTubeサイトから

www.youtube.com/watch?v=d96PSEkMqHo

カトリック中央協議会HP お知らせより

<行事報告>

新成人祝福式（1月8日）

1月8日10時ミサの中で、新成人の祝福式が行われました。

「心と力と愛をつくして主のお望みになる人格形成、主のお望みになる社会への奉仕に励みたい」と祈りを捧げ、祝福に預かりました。



～新成人の声～

1月8日、六甲教会で新成人式を受けることができ神父様をはじめ信徒の皆様、家族、私を支えてくださった全ての方々に感謝いたします。

私は、小学校3年生まで六甲教会でお世話になっておりました。10年ぶりに六甲教会に来ることができ、とても懐かしく思いました。

これからの人生いろいろ大変なこともあると思いますが、一生懸命頑張ってまいります。今後ともよろしく願いいたします。
(坂本)



~~~~~

## 新年会と新成人お祝会（1月8日）



1月8日ミサ後、新年会と新成人お祝い会が開催されました。生憎の雨空でしたが多くの方がご参加くださいました。

新成人の抱負を聞きながら、若者達の繋がりや輪が広がることを願いつつ、将来彼らに託す教会のことを大人たちはもっと真剣に考えなければと思いました。

会食歓談のあとは賑やかにビンゴ大会が行われ、新年の歌をみんなで歌い閉会となりました。沢山の  
方々がケーキ・果物をご提供くださり、豪華な新年会となりました。心より感謝申し上げます。

(灘南地区代表 長瀬)



《 各部だより 》 各専門部会の活動をお知らせいたします



 **小教区評議会**

2月11日(土) 10:00 拡大評議会

 **典礼部**

2月12日(日) 12:00 聖体授与の臨時の奉仕者の集い  
2月18日(土) 10:00 部会

 **教会学校**

3月11日(土) 就業式・卒業式  
卒業合宿～12日(日)

 **社会活動部**


2月3日(金) 初金ミサ後 連絡会及び慰労会  
(第1、第2会議室)

 **地区会**

2月5日(日) 12:00 役員会

 **施設管理部**

2月26日(日) 12:00 部会

 **広報部**

2月26日(日) 教会報3月号発行

3月1日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
ミサ 7:00 10:00 19:00  
(すべてのミサで灰を受けられます)  
※2月26日(日)までに昨年の枝をお持ちください。

《 お 知 ら せ 》 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

★社会活動部より★

2月 1日(水) 10時 手芸の集い(第1、第2会議室) どなたでもご参加できます。  
2月19日(日) 10時ミサ後 ふれあい広場(イグナチオホール)  
2月27日(月) 9時半 ともしび会ケーキ作り(イグナチオホールお台所)

※今月の炊き出しは、祝日と重なるためお休みです。

~~~~~

～墓地っこ便り～

共同墓地の拡張工事のお知らせ

共同墓地の納骨スペース拡張のための工事を下記の期間で行います。

2017年1月17日～2017年2月25日

期間中の墓参は西側に石碑、花立、仮納骨庫がありますので、そちらでお願いします。また、工事中は周辺に機材などが保管されていますので、安全にご注意ください。

次回の共同墓地への納骨は予定通り**2017年2月26日**です。



墓地委員会 福田

<石碑は西側に移動>

♪ 聖歌隊だより ♪

2月の聖歌隊の集中練習では、高山右近列福ミサの聖歌を中心に練習します。また、四旬節を控え、イースターに向けての練習も開始します。年に1度しか歌わない聖週間の聖歌など、ご一緒に歌いましょう。聖歌隊以外の方の飛び入り参加も心から歓迎いたします。



【聖歌隊集中練習】

2月 4日(土) 10:00～12:00 列福ミサの聖歌練習
2月 19日(日) 12:30～14:00 四旬節、聖週間に向けて

【主日ミサ前練習】

毎週主日 9:00～9:30 その日に歌う聖歌を練習しています。

どうぞお気軽にご参加ください。

聖歌隊代表 清水

《 図書室からのお知らせ 》

図書室を有効に生かすための提案や、希望される図書の推薦をお待ちしております。
図書室入り口の投書箱または、教会受付へお願いいたします。



図書室に入った本 (1月)

☆ キリシタン大名高山右近とその時代 —— 川村信三 教文館

2月に列福される高山右近の希有な生涯(1552-1615)を、彼が決断の軸に信仰を据えて、乱世と対峙し続けた「時代」と「地理」の視点から多角的複合的に俯瞰詳察して、日本史および世界史の中で右近像の新たな解明を試みる。著者はNHK大河ドラマのキリスト教歴史考証も担当するキリシタン研究の第一人者(上智大学文学部史学科教授)であり、イエズス会司祭。



みんなの広場

2月3日は何の日?

2月2日は「主の奉献」の祝日、意識している信徒は何人いるだろうか。御降誕の40日後、初子である主が律法に従って神殿で神にささげられたことを記念する祝日である。この日には蝋燭の祝別式と行列が行われるところもあるが、概ね平日だからこの教会の信徒も意識している人は少ないのでは。

それでは、「2月3日は何の日」と問われたらどう答えるだろうか。最近はなくなったようだが、この日には二本の蝋燭を交差して結び喉に当てて祝福する習慣がある。教会はこの日、聖ブラジオ司教殉教者を記念する。4世紀アルメニアの司教殉教者で、喉の守護者とされている。魚の骨を喉に詰まらせ窒息しかかった少年を救ったと伝えられているのが由来である。

今わたしたちには暦と言えばグレゴリオ暦だが、信仰をもって生きるわたしたちの真の暦は「教会暦」であることを心に留めておこう。女子パウロ会のサイト「L a u d a t e」には「聖人伝」がある。

(ヨハネ 三好)

教会報3月号の発行は、2月26日(日)です。 原稿は2月12日(日)までに教会受付へご提出 ください。FAX 及びメールでも受付いたします。 (広報部) http://www.rokko-catholic.jp	カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6 F A X 0 7 8 - 8 5 1 - 9 0 2 3 発 行 責 任 者 アルフレド・セゴビア 編 集 広 報 部
--	---